

令和3年度 農作物病虫害発生予察5月月報

令和3年(2021年)6月1日
山口県病虫害防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
5.1	15.3	17.3	△ 2.0	21.8	23.4	△ 1.6	9.1	11.4	△ 2.3
5.2	18.2	18.0	0.2	24.3	24.0	0.3	11.5	12.2	△ 0.7
5.3	20.0	18.5	1.5	24.2	24.5	△ 0.3	17.1	12.7	4.4
5.4	20.7	19.1	1.6	24.0	25.1	△ 1.1	18.2	13.4	4.8
5.5	19.7	19.8	△ 0.1	24.6	25.7	△ 1.1	15.3	14.2	1.1
5.6	19.8	20.5	△ 0.7	26.0	26.3	△ 0.3	14.0	15.1	△ 1.1
平均・計	19.0	18.9	0.1	24.2	24.8	△ 0.7	14.2	13.2	1.0
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
5.1	71.5	30.8	40.7	33.5	32.5	1.0			
5.2	1.0	35.5	△ 34.5	38.2	32.5	5.7			
5.3	50.0	37.7	12.3	6.0	33.0	△ 27.0			
5.4	154.0	32.9	121.1	6.7	34.0	△ 27.3			
5.5	16.5	27.4	△ 10.9	26.6	34.0	△ 7.4			
5.6	37.0	29.5	7.5	45.9	38.7	7.2			
平均・計	330.0	193.8	136.2	156.9	204.7	△ 47.8			

II 作物の生育状況

- (1) コムギ : 降雨・曇天の影響で登熟はやや遅れ気味。成熟期は平年並み～やや遅い見込み。
- (2) カンキツ : 開花は平年より5～10日程度早い。
- (3) ナシ : 平年に比べて生育は早い。一部の地域では、4月の降霜・低温による着果不良で、着果量が大幅減の見込み。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 普通作物

2021年5月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																	
イネ いもち病 (苗いもち) 苗立枯病 もみ枯細菌病 (苗腐敗症) ばか苗病	5月下旬の共同育苗施設(26施設)の聞き取り調査では、下表のとおりであった。 表 共同育苗施設の聞き取り調査結果 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病害名</th> <th colspan="2">発生施設率 (%)</th> </tr> <tr> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いもち病</td> <td>0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>苗立枯病</td> <td>0</td> <td>3.6</td> </tr> <tr> <td>もみ枯細菌病</td> <td>0</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>ばか苗病</td> <td>0</td> <td>1.8</td> </tr> </tbody> </table>	病害名	発生施設率 (%)		本年	平年	いもち病	0	1.5	苗立枯病	0	3.6	もみ枯細菌病	0	1.2	ばか苗病	0	1.8	—	—
病害名	発生施設率 (%)																			
	本年	平年																		
いもち病	0	1.5																		
苗立枯病	0	3.6																		
もみ枯細菌病	0	1.2																		
ばか苗病	0	1.8																		
セジロウンカ	予察灯(県内4か所、4月1日～5月24日合計)における誘殺数は、2頭(平年0頭)で平年に比べ多かった。 5月17日に萩市大井の予察灯で初確認され、平年に比べやや早かった(平年初確認6月6日)。	県内全域	—																	
トビイロウンカ	4月1日～5月24日の予察灯及びネットトラップでは確認されなかった(平年初確認日7月10日)。	—	—																	
ヒメトビウンカ	下旬のコムギのすくい取り調査では、20回当たり成幼虫数は52.3頭(平年40.5頭)で平年に比べやや多かった。	県内全域	—																	
ニカメイガ	4月1日～5月24日の予察灯では確認されなかった。	—	—																	
イネミズゾウムシ	予察灯(県内4か所、4月1日～5月24日合計)における誘殺数は、47頭(平年36.4頭)で平年に比べやや多かった。成虫誘殺ピークは5月13日(平年5月6日)で平年に比べ遅かった。	県内全域	—																	
コムギ (調査ほ場数:中甸17、 下旬16) 赤かび病	中甸の巡回調査では、発生ほ場率5.9%(平年19.9%)、発病穂率0.1%(平年0.6%)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0%(平年41.9%)、発病穂率0.8%(平年1.3%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 344																	
うどんこ病	中甸の巡回調査では、発生ほ場率17.6%(平年0%)、発病葉率3.9%(平年0%)で平年に比べ多かった。	県内全域	少 258																	

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
コムギ 黒節病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年4.6%)、発病茎率0% (平年0.3%) で平年並みであった。	—	—	
黄斑病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率47.1% (前年47.1%)、発病茎率37.6% (前年31.8%)、発病度9.4 (前年16.5) であった。	県内全域	中	515
			少	172
			計	687

2 果樹

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
カンキツ (調査ほ場数:19) かいよう病	下旬の巡回調査では、新葉での発生ほ場率5.3% (平年2.0%)、発病葉率0.3% (平年0.1%)、発病度0.1 (平年0.0) で平年並みであった。	県内全域	少	57
そうか病	下旬の巡回調査では、新葉での発生ほ場率5.3% (平年0.5%)、発病葉率0.1% (平年0.0%)、発病度0.0 (平年0.0) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	57
灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5% (平年33.5%)、発病花率0.9% (平年1.7%) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	中	115
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率21.1% (平年10.0%)、寄生葉率5.6% (平年0.9%) で平年に比べ多かった。	県内全域	中	115
			少	115
			計	230
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率21.1% (前年10.0%)、寄生新梢率3.3% (前年0.2%) であった。主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	甚	57
			中	116
			少	57
			計	230
ナシ (調査ほ場数:15) 黒斑病 (二十世紀及びゴールド二十世紀ほ場数:9)	初発生は認められていない (平年6月23日)。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年10.1%)、発病葉率0% (平年0.1%)、発病新梢率0% (平年0.1%) で平年並みであった。	—	—	
黒星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年3.6%)、発病葉率0.2% (平年0.1%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少	33
赤星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率13.3% (平年8.8%)、発病葉率0.2% (平年0.2%) で平年並みであった。	県内全域	少	22

ナシ アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年23.3%)、寄生新梢率0.7%(平年 0.9%)で平年並みであった。	県内全域	少	55
ハダニ類	下旬の巡回調査では発生が認められず、平 年並みであった。	—	—	—
ニセナシサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年0.7%)、被害新梢率16.1%(平年 0.0%)で平年に比べ多かった。	県内全域	甚	55
チュウゴクナシ キジラミ	下旬の巡回調査では発生は認められず、平 年並みであった。	—	—	—
ナシヒメシンクイ	フェロモントラップ(4月26日～5月25日合 計)における誘殺数は、萩市では3頭(平年 15.3頭)で平年に比べやや少なかった。下 関市では1頭(前年23頭)であった。	県内全域	—	—
キウイフルーツ (調査ほ場数:3) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (前年33.3%)、発病葉率4.9%(前年 1.3%)であった。	下関市	中	1
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアオカ メムシ、ツヤアオ カメムシ、クサギ カメムシ)	予察灯(県内5か所、4月21日～5月20日合 計)における誘殺数は127頭(平年40.6頭)で 平年に比べやや多かった。主要種はチャバ ネアオカメムシであった。 フェロモントラップ(県内4か所、5月1～25 日合計)によるチャバネアオカメムシの誘 殺数は179頭(平年735.9頭)で平年に比べや や少なかった。	県内全域	—	—

3 野菜

2021年5月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
タマネギ (調査ほ場数：17) べと病	中旬の巡回調査では、発生ほ場64.7% (平年28.9%)、発病株率27.4% (平年14.3%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	甚	21
			多	14
			中	14
			少	28
			計	77
白色疫病	中旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—	
腐敗病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率41.2% (平年14.4%)、発病株率3.9% (平年0.6%)で平年に比べ多かった。	県内全域	多	7
			中	21
			少	21
			計	49
軟腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.6%)、発病株率0% (平年0.0%)で平年並みであった。	—	—	
さび病、萎黄病、 ボトリチス属菌による 葉枯れ症 (白斑葉枯病)	中旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—	
ネギアザミウマ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率70.6% (平年47.3%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	多	42
			少	42
			計	84

お問い合わせ先
山口県病害虫防除所
TEL (083)927-4006
E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp